

平成 25 年 9 月 6 日（金）

【自席による質問】

1. 「社会教育・体育施設等」の管理業務における民間委託の現状と今後
- Q 指定管理者制度導入における運営状況や経費節減の現状については、「官から民へ」の行政改革のとしての成果があったことはわかりました。
- Q 先月に行われた、横芝光町共同利用施設及び社会体育施設管理業務委託の公募では、9月に契約相手方が決定したようです。
- ① そこで、今回の業務委託の契約相手方、委託場所・委託期間・契約金額などを伺います。
 - ② 今回の業務委託業者との契約は議会に諮ることなく執行部サイドで決定できるようですが、議会への議決事項となる金額の上限はあるのか伺います。
 - ③ 管理業務委託契約は、金額にかかわらず、全て議会への議決を要しないということですが、何か不思議な思いがします。議会への報告は最小限必要と思いますが、お考えを伺います。
 - ④ 検討よろしく願いいたします。
- Q 次に、業務委託の遂行に関して、議会への執行部からの運営状況報告について伺います。
- ① 業務委託の現状を議会が把握することは難しく、今、町民がどんな要望をし、何が起きているのかなど、議会に何らかの形で報告する必要性があると思いますが、お考えを伺います。
 - ② 議会への報告について、できれば、議会所管の民生常任委員会に報告するようにお願いしたいと思います。
- Q 次に、「社会教育・体育施設等」の定期的な管理・運営状況の点検
- ① 2006年に起きた港区シティハイツ竹芝でのエレベーター事故やふじみ野市のプール事故がありました。そのようなことを踏まえ、現在、利用者のための安全性の確認、施設や用具などの改修・改善等をどのように行っているのか伺います。
 - ② 事故の起こらないよう、十分な安全対策をお願いします。
- Q 次に、「社会教育・体育施設等」の民間委託の住民サービス満足度の評価について伺います。
- ① 住民サービスに最も大切なことは住民の満足度であると考えます。そこで、住民の意見や要望をどのように聞き、反映されているのか伺います。

- ② 住民の目安箱のような、町民のそれぞれの利用する場所に住民の意見を聴くための投書箱を設けてはと思いますが、伺います。
- ③ 利用者の満足度を上げ、より多くの利用者を確保するように、更なる努力をしていただくようお願いします。

Q 次に、指定管理者制度と業務委託の課題（問題点）

- ① 町と指定管理者や業務委託業者との連携を図り、現場を直視した、利用者の視点に立ち、課題や問題点は何かを考え、その改善策を見つけ、できるだけ早く解決することが、町と町民との信頼関係構築には、必要不可欠と思います。このことについてどのようにお考えでしょうか。
- ② 指定管理者制度は、町が管理者に施設管理を丸投げすることを認める制度ではないと思います。管理が適切になされているか十分に監督するようにお願いいたします。

◎ ここで、今後の新たな管理業務委託導入についての要望させていただきます。民間の業務委託は行政改革施策の一環と思います。将来、町の担い手となる子どもたちを、町民が育てるといった、例えば、学童保育のような子育て支援を、『町主導による社会法人を創設し、業務委託という受け皿を作ること』が肝要と思います。それがあある意味では、協働づくりの連鎖となり、町の将来の発展にも繋がっていくと思います。その他、いろんなことが考えられると思います。是非、検討していただくよう要望します。

次に、『主要施策と財政の裏付け』

Q 公共施設の老朽化に伴う、維持・修繕や長寿命化の見通しと財源の裏付けについてですが、

- ① インフラの点検は、道路、橋梁、公共の建物（学校や庁舎など）、施設の備品まで幅広いものとなりますが、その順序建てを、今後どう考えていくのか伺います。
- ② 老朽化に伴う改修事業に対して、将来計画や実施計画をどのように進めていくのか、伺います。
- ③ 各施設等を管理している所管に対して、ヒアリングをどのように行い対応しているのか伺います。
- ④ 主な公共施設の耐用年数やそれに対して予想される改修時期や長寿命化策などについて、町民に理解を求めるために、情報公開が必要と思いますが、お考えを伺います。

- ⑤ 当町においても公共施設が数多くあります。町民の安全・安心は基本ですが、行財政改革の施策として、公共施設の老朽化に伴う、維持・修繕や長寿命化の方策をしっかりと実施していくよう、お願い致します。

Q 次に、『「道の駅構想」や「デマンド交通システム導入」、「東陽病院の医療機器整備」などの見通しと財源の裏付け』

- ① まず、道の駅構想について、会議では、いろいろな意見があるように聞いております。今、道の駅構想は、大網白里市や東金市、そして山武市も計画がされているようです。今後は大変に厳しい「道の駅 間競争」が予想されます。そういったことから、単にその辺にある道の駅構想にとられることなく、将来を見据えた構想が肝要ではないでしょうか。

そのためには、複合的な道の駅構想計画による、より有効的な補助金制度を活用するための調査・研究が必要と思いますが、お考えを伺います。

- ② 近い将来圏央道の開通も期待でき、この地の利を生かした創意工夫をこらし、単なる通過点とならないような、しっかりとした将来を見据えた「道の駅構想」の立ち上げが必要ではないかと思えます。例えば、栃木県壬生町にあるような道の駅構想も一つの案と考えます。宜しくお願ひします。

Q 次に、デマンド交通システムについては、地域公共交通会議において、来年度から運行予定であり、導入形態が決定したようです。そこで、財政計画に基づく、財源の確保については、どのようにお考えでしょうか伺います。

- ① 町内公共交通体系のあり方の基本方針では、「より便利で、より公平で、より効率的な公共交通」とあるように、循環バスとデマンド交通の整合性を図り、町民により利用しやすい運行をお願い致します。

Q 次に、東陽病院経営の脳神経外科に対する将来的な投資計画をどのようにお考えなのか伺います。

- ① 10月から新しい院長が就任します。それに伴い東陽病院の経営方針が決定すると思えます。従来診療科からの要望等が増えることが予想されます。そういったことを含めた病院運営に対応するための財政計画の必要性を感じますが、どのようにお考えでしょうか伺います。

- ② 東陽病院経営の脳神経外科の将来計画における位置づけ及び投資

効果としてのアンギョウの医療機器と医師を初め、医療関係スタッフ拡充への考え方に基づく見通しとそれによる計画はあるのか伺います。

- ③ 新院長のもと、東陽病院の理念である『健康で生きる喜びを患者様と共に分かち合い、地域住民の健康な生活を支えるとともに、安心して暮らせる心の支えとなる病院として、安全で良質な地域医療を提供します。』この使命のもと、運営方針を決定し、併せて財政計画を建て、医療機関関係者の努力により、良好な運営改善がなされるよう切望いたします。

『まとめ』

只今、多岐にわたる質問し、ご答弁をいただきましたが、今後、施策を実施していくため、施策の優先順位と今後の財源見通しを明らかにするとともに、長期的展望にたつて限られた財源の効率的な運用を図るなど、適切な財政運営が展開されるようお願いし、一般質問を終わります。